

SERI NEWS RELEASE

平成 25 年 12 月 24 日

一般財団法人静岡経済研究所
理事長 鈴木一雄
〒420-0853 静岡市葵区追手町 1-13
アゴラ静岡 5 階
TEL054-250-8750
FAX054-250-8770

平成 26 年上期 「静岡県内企業経営者の景気見通し」調査(B.S.I.)

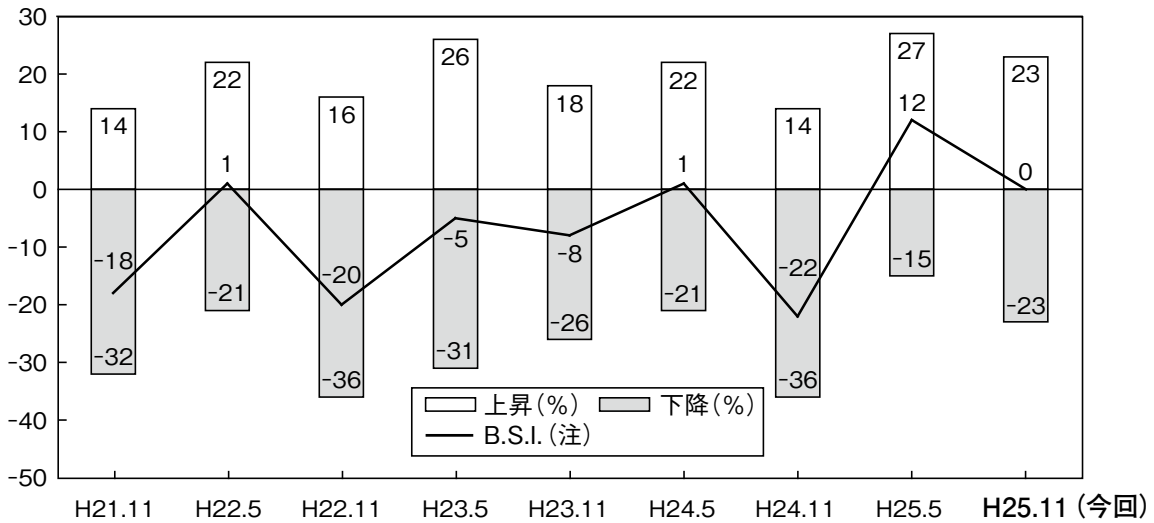
～消費税増税に伴う需要減体験から景気は横ばいの見通し～

- 平成 25 年 11 月実施の「静岡県内企業経営者の景気見通し」調査では、平成 26 年 1～6 月期の B. S. I. (業界景気見通し指数) は、「上昇」(23%)と「下降」(23%)が均衡し、前回 25 年 5 月調査(+12)の上昇見通しから転じて横ばいとなった。
- 企業規模別 B. S. I. は、大企業は+7と「上昇」が「下降」を上回ったものの、中小企業は Δ 1と下降見通しとなった。また、業種別では、製造業は前回調査の+12から、非製造業は前回の+11から、ともに \pm 0と低下した。消費税増税を前にした駆け込み需要の効果と増税後の需要減退懸念が拮抗しての横ばい見通しとなっている。

担当：小澤高伸・田原真一

消費税増税後を懸念し、 年前半の景況感は横ばい見通し

図表1 半期先の業界景気見通し



(注) B.S.I. (Business Survey Index) とは、企業経営者の見通しを数字であらわしたもので、前期に比べて上昇とみる…x、横ばいとみる…y、下降とみる…zについて、 $x+y+z=100$ とした時、 $B.S.I.=2x+y-100=x-z$ と定義。全員が上昇とみればB.S.I.は+100、全員が下降とみるとB.S.I.は△100になる。上昇と判断する人が多ければ多いほど+100に近づき、下降とみる人が多ければ多いほど△100に近づき、上昇と下降が同数（全員が横ばいとみる場合も含む）の場合、B.S.I.は0となる。

調査の要領

- 調査目的：この調査は、当研究所が昭和38年より毎年2回実施しているもので、静岡県内企業経営者の自社の業績見通しをもとに、業界景気を調査することを目的にしている。
- 調査対象：静岡県内に本社をおく主要企業。
- 調査方法：各企業に対するアンケート調査。
- 調査内容：①平成25年下期（7～12月）に比べた平成26年上期（1～6月）、および平成26年上期に比べた平成26年下期の自社の業績見通し
②平成25年下期に比べた平成26年上期の売上額、経常利益などの項目別見通し
③現在の企業経営上の問題点および今後重視する経営戦略
- 調査時点：平成25年11月
- 回答状況：調査対象企業468社のうち、有効回答をよせられた企業は300社で、有効回答率は64.1%である。